

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 国語では、「書く能力」に課題があり、中でも、「目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」では、資料を要約すること、自分の考えに適した理由を選んで考えをまとめることに課題が見られ、無回答も多かった。算数では「量と測定」「図形」「数学的な考え方」「学びを生かして日常生活の問題解決をする活用力」に課題が見られる。	1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 「課題解決に向け、自分で考え取り組む」「考えがうまく伝わるよう、理由を示すなどの工夫をして話す」「あきらめずに考える」「学んだことを日常生活で活用しようとする」などに課題が見られ、授業において、主体的に考え、伝え合い、新たな発見をするという学ぶ楽しさが、十分に味わえていないことが考えられる。
		2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況 「みんなで考えたいこと(課題)を見つける」83%「友だちの考えとつないで自分の考えを話す」74%で、これらは、昨年度より1～2ポイント増えている。「繋げて話せるように聞く」は、今年度改訂した項目だが、昨年度までの「相違を考えながら聞く」と比べると3ポイント減っている。各項目とも学年によって開きがある。
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 「聞く視点」をもたせる教師の出番としての、問い返しや立ち止まりでの話し合いの焦点化は、できてきている。「子どもと共に課題設定」「問題解決的な展開」の取組の充実が必要。 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 「はなまるタイム」は実施できているが、より系統的な取組が必要である。「つなげて話すために聞く」は難しく、取組の充実が必要である。はなまるタイムで身に付けた力を、授業で十分に生かしていない。	

学力に関する達成指標	【達成指標】 相手の思いや考えを、自分の考えとのつながりを考えながらしっかり聞き、自分の思いをすすんで伝えようとする子が5割以上
	【検証指標】 算数アンケートの次の項目において、できる・少しできると回答する割合を3ポイント高める。「みんなで考えたいこと(課題)を見つける」「つなげて話せるように聞く」

